



千代田区立番町幼稚園

園 長 美 越 英 宣
副 園 長 荒 木 久 子
主 任 今 野 裕 美
愛児会会長 柿 坪 裕 裕

所在地 東京都千代田区六番町 8
電 話 03-3263-3725
FAX 03-3263-3743
最寄り駅 JR・地下鉄 市ヶ谷・四ツ谷駅

I 教育の概要

1 幼稚園・地域の特徴

明治時代からの閑静な住宅街の中にあり、前身となる番町高等尋常小学校附属幼稚園から 136 年の歴史を有している。地域との関りも深い。昭和初期からの保護者組織である「愛児会」は PTA 組織として、現在に続いている。小学校が同じ敷地にあるため、互いの教育活動を常に見合うことができ、年間を通じて計画的に交流活動を行っている。幼稚園専用の前庭には、カキやナツミカン、アンズなど果物のなる樹木があり、四季折々の植物を子どもたちが栽培している。一人一人の子どもが園の中で輝き、学びを深めていけるよう、充実した保育を実施している。

2 教育目標

(1) 幼稚園の教育目標

人間尊重の精神に基づき、自己を十分に発揮しながら主体的に行動し、友達との関わりの中で互いのよさを認め合う、知・徳・体バランスのとれた心豊かで健康な幼児の育成をめざし、次の目標を設定する。

- ◎考える子（主体的に生活や遊びを楽しむ子ども）
- ◎思いやる子（自分も相手も大切にできる子ども）
- ◎やりぬく子（最後まで諦めずにやり遂げる子ども）

(2) 幼稚園の教育目標を達成するための基本方針

- ◎教師との信頼関係を基盤に情緒の安定を図り、伸び伸びと自分の思いを表現して活動する中で、主体的に行動する喜びと、充実感が味わえるようにする。（自立心）
- ◎身近な環境に興味や関心をもち、主体的に関わる体験を積み重ねていく中で、考えたり工夫したりして諦めずにやり遂げる喜びや、創造・探究・表現する喜びを味わえるようにする。（思考力の芽生え、豊かな感性と表現、数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚）
- ◎自然に触れる学びや、豊かな直接体験を通して知的好奇心を高め、自然の事象や変化に心を動かしたり、慈しみの心や命の大切さに気付いたりする感性を培う。（健康な心と体、思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重）
- ◎友達と十分に関わって遊ぶ中で、言葉で互いの考えを伝え合い、集団の中で自己の力を発揮する喜びを味わうとともに、自分のよさに気付く、気持ちを調整しながら折り合いをつける等、互いを尊重する態度や道徳性の芽生えを培う。（協同性、道徳性・規範意識の芽生え、言葉による伝え合い）
- ◎年齢の異なる幼児や小学生、近隣の保育所、地域の方々等との関わりを重視し、身近な人への憧れの気持ちや自己有用感を高め、持続可能な社会作りのための課題解決に必要な能力・態度の基礎を培う。（社会生活との関わり）
- ◎幼児が互いの違いに気付いたり、諸外国の多様な文化や、障害のある人たちに触れたりする中で、受け入れ合い、認め合う態度や人権感覚を身に付ける。（協同性、社会生活との関わり、道徳性・規範意識の芽生え）
- ◎身体を十分に動かして遊ぶことで体力向上を図るとともに、すすんで運動しようとする意欲や失敗を恐れずに挑戦する態度と安全に対する構えを養い、健康な心身を育む。（健康な心と体）
- ◎家庭や地域、関係機関等と情報を共有し連携を強化し、組織的、計画的に教育活動の質の向上を図り、学校評価を生かした社会に開かれた特色ある番町の教育を充実・発展させていく。

3 指導の重点

(1) 教育課程編成、実施にかかわる指導の重点

- ◎生きる力の基礎を育むために、3年間を見通し、組織的・計画的に教育を行う。（全領域）
 - 【3歳児】教師との信頼関係を基盤に、安心して生活し、自分の好きな遊びを十分に楽しむ。
 - 【4歳児】いろいろな活動に興味や関心をもち、自分の気持ちを十分に表出し、意欲的に遊んだり、友達との関わりを楽しんだりする。
 - 【5歳児】主体的に生活や遊びを進めていく中で、友達と互いのよさを認め合い、力を発揮する満足感や、やり遂げる達成感を味わう。
- ◎遊びや生活に主体的に取り組む中で、自分の力を発揮する充実感や、心や体を十分に働かせる満足感を味わえるよう、個に応じた教材や指導の工夫を図る。（全領域）
- ◎豊かな感性や表現力を培い、創り出す喜びを味わうため、とうきょうすくわくプログラム「番町ラボ」などを活用して環境を充実させ、主体的に環境に関わって遊ぶ楽しさの中で、心を動かす多様な体験を積み重ね、伸び伸びと表現する楽しさを味わえるようにする。（表現・言葉）
- ◎知的好奇心を育み、探究する楽しさを味わえるよう、直接体験を大切にしながら環境や指導の工夫を図る。（環境・表現）
- ◎絵本や物語などに親しみ、想像する楽しさを味わい、言葉に対する感覚を養えるよう、日々の読み聞かせを行い、発達や幼児の興味に合わせた本が身近にある環境を整える。また、図書館司書やPTAとの連携を図り、貸し出しにより親子で本に接する機会を推進する。（言葉・表現）

- ◎季節や発達段階に応じて、身近な動植物や自然事象に親しみ、遊びに取り入れ、興味や関心を深めていけるように、実践、共有、振り返りをし、指導の工夫を図る。(環境・表現)
- 友達と共に様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが分かり、相手の立場に立って行動できるようになるとともに、きまりを守る必要性が分かり、すすんで守ることができるよう、指導の工夫を行う。(人間関係・言葉)
- 自信をもち、目的に向かって最後まで諦めずにやり遂げる力を育むために、友達と互いに認め合い、集団の中で自己を発揮し、葛藤を乗り越えながら成就感や達成感が味わえるようにする。(人間関係・健康)
- 一人一人が自分の体も他の人の体も大切にすることをもち、性犯罪・性暴力などの危険から自分の身を守る力を培うため、「生命(いのち)の安全教育」を充実する。(健康)
- 学校2020レガシー「豊かな国際感覚」を育むため、週に一度のALTとの関わりの中で、幼児が外国語を身近に感じ、自分からコミュニケーションを図る機会を設定したり、特色ある教育活動「中華獅子舞の鑑賞」を実施したりする。(環境・表現・言葉)
- 社会とのつながりの意識や日本の文化に親しむ気持ちを育み、学校2020レガシー「日本人としての自覚と誇り」への取組の一環として、特色ある教育活動「麴町囃子・獅子舞の鑑賞」や「鼓楽庵による和楽器となかよし」にて地域の人材を活用する他、季節の伝統的文化に触れる機会、わらべうたなどに親しむ機会などを大切にする。(環境・表現)
- 一人一人の心身の発達や特性及び地域の実態に応じた指導を行えるよう、巡回アドバイザーやスクールカウンセラー、担任、会計年度任用職員、支援員等、園内の教職員の他、特別支援学校のセンター的機能の活用等、関係諸機関と連携し、情報や指導方針の共有を図る。(社会生活との関わり 道徳性・規範意識の芽生え)
- 一人一人の幼児の理解を進め、幼児のよさや可能性などを指導の改善に生かすために、関係機関と連携しながら発達や障害の特性を学ぶとともに、教育支援シートを作成し、幼稚園と家庭との指導方針を共有しながら、一人一人の幼児に合わせたインクルーシブ教育を充実させる。
- 多様な体の動きを経験し、主体的に体を動かして遊ぶことを楽しんだり、バランスの取れた心身の発達を促したりできるよう、「朝のスポーツタイム」「コーディネーショントレーニング」を取り入れるとともに、運動能力測定の結果も活用し、運動遊び年間指導計画に基づいた指導を充実させる。(健康)
- 様々な人と関わる楽しさを感じたり、憧れや親しみの気持ちをもったりすることができるよう、併設小学校の全学年と計画的に交流を実施し、幼小が互いに学び合いながら連携を深めていく。(健康・人間関係)
- 家庭や地域、関係諸機関と連携を強化するために、PTA活動を充実するとともに、幼稚園運営連絡会を実施する。
- 主体的に行動し、心豊かな幼児を育てるため、特色ある教育として三つの柱、『わぁ!すごい!出会い』『へえ!そうなんだ!共感』『えっ!?!おもしろい!創造』を実施する。
- 『わぁ!すごい!出会い』では、本物に触れる機会や多様な文化に触れる機会を大切にし、豊かな感性や表現を養う教育活動を展開する。
- 『へえ!そうなんだ!共感』では、保護者や地域の力を活用したり、共に経験したりすることで、社会に開かれた教育活動を展開する。
- 『えっ!?!おもしろい!創造』では、多様な体験の中で、幼児が十分に探究できる教育活動を展開する。(健康・人間関係・環境・言葉・表現)
- 健康な心と体の育成のために、弁当給食を通して、教師や友達と食べる喜びや楽しさを味わったり、様々な食べ物への興味や関心をもちたりできるような指導の工夫を行う。

(2) 環境の構成

- ◎自分の力を十分に発揮していけるように、友達と力を合わせ、継続して取り組む活動のできる場や、探究・創造できるような場の環境構成を行う。
- ◎各保育室内や預かり保育の保育室などを利用し、幼児の発達や興味に合った、創り出す喜び、探究したり表現したりする楽しさを味わえるような環境「番町ラボ」を設定する。とうきょうすくわくプログラムを活用しながら、一人一人が主体的に関わることでできるような環境を構成する。
- ◎知的好奇心を育み、探求する楽しさを味わえるよう、興味や関心のあることを知らせたり、周りの幼児と共有したりできるよう、本やICT機器、カメラ等を適切に扱える環境を構成する。
- 友達と一緒に共通の目的に向かい、話し合い、葛藤も経験しながらやり遂げる経験ができるよう、「親子スポーツデー」「番町子ども劇場」「うめランド」などの行事を設定する。
- 幼児理解に努め、一人一人の発達や特性に応じた教育的ニーズに最も的確に指導を行えるよう、クールダウンスペースの確保や、ユニバーサルデザインを踏まえた環境設定、指導方法の工夫などの合理的配慮を行った教育を実施する。
- 日本の文化や季節行事や、諸外国の文化に関心がもてるよう、定期的に廊下や階段など共有部分の園内の掲示を工夫したり、図書館司書と連携した絵本コーナーなどを設置したりする。また、親子で東京中華学校と交流をし、親子で諸外国の文化に触れる楽しさを共有できる場を設定する。
- 様々な人と関わる楽しさや憧れ、親しみの気持ちをもったり、小学校へ円滑に接続したりするとともに、教員同士の理解を深められるよう、併設小学校の全学年と計画的に交流を実施する他、小学校教諭との連携を密に行い、互いに「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を視点に、授業や保育を見る機会を設定する。

(3) その他

- 保護者や地域社会と共に子どもたちを健やかに育ていけるよう、園公開や保育参加、少人数で参観する「保育参観ウィーク」、保護者と幼稚園が共に企画・運営する「親子で遊ぼう」、保護者向けの講演会などを実施する。保護者のニーズに合わせて相談しやすい子育て支援の機会を保障する。
- 保護者のニーズに合わせた預かり保育の時間の拡充とともに、質の高い保育を行うことができるよう、担任と預かり保育担当との連携を大切にしたり、保護者への情報共有の仕方を工夫したりする。
- 幼児が安全で健康な園生活の習慣や態度を身に付けることができるよう、毎月の安全指導の他、警察や保護者と連携した指導を行う。
- 幼児だけでなく、教職員も一人一人が考える力、遊ぶ力、学ぶ力を高めていくために、研究テーマを『探究の扉を開く』を継続し、研究を深める。
- 研究保育を区内小学校、幼稚園、保育所に公開する「ふらっと番町」を実施し、区内での校種、施設類型を越えた教育の充実を図るとともに、その成果を自園の教育の質の向上に活かす。
- 「ちよだスマートスクール」の取組の一環として、教職員がICT端末や生成AIを活用し、効率的に情報共有や業務を遂行することで、働き方改革の推進や有効的な保育への活用を目指す。

4 教育時間

	I	II	III	IV	備考
5 歳	4 月 8 日～ 4 月 10 日	4 月 11 日～ 3 月 18 日			水曜日 8 時 45 分 ～ 12 時 55 分
	8 時 45 分～ 11 時 30 分	8 時 45 分～ 13 時 55 分			
4 歳	4 月 8 日～ 4 月 10 日	4 月 11 日～ 3 月 19 日			水曜日 8 時 45 分 ～ 12 時 50 分
	8 時 45 分～ 11 時 25 分	8 時 45 分～ 13 時 50 分			
3 歳	4 月 10 日～ 4 月 11 日	4 月 12 日～ 5 月 8 日	5 月 9 日～ 7 月 18 日	9 月 1 日～ 3 月 19 日	水曜日 8 時 45 分 ～ 12 時 45 分
	8 時 45 分～ 10 時 00 分	8 時 45 分～ 11 時 20 分	8 時 45 分～ 12 時 45 分	8 時 45 分～ 13 時 45 分	

II 現 況

1 園舎施設・規模一欄

現園舎	起工 S 46・8・19	竣工 S 47・3・2
園舎構造	鉄筋コンクリート2階	
園舎面積	828㎡	保育室(6) 409㎡ 職員室 56㎡
あそび場	小学校と共用(1,7498㎡ ピロティを含む)	

2 組編成 (5月1日現在)

年齢	組名	男(名)	女(名)	計(名)
3 歳児	もも組	11	6	17
4 歳児	さくら組	7	12	19
5 歳児	うめ組	9	10	19
合計		27	28	55

3 職員一覧

No.		氏 名	No.		氏 名
1	園 長	美 越 英 宣	13	預かり保育担当	西 山 恵 美
2	副 園 長	荒 木 久 子	14	預かり保育担当	大 塚 ふみ子
3	幼稚園主任	今 野 裕 美	15	預かり保育担当	岩 丸 菜 生
4	3 歳児担任	片 岡 歩 夏	16	特別支援教育専門員	佐 藤 裕 枝
5	3 歳副担任	伊 賀 梓	17	特別支援教育支援員	長 又 美 帆
6	4 歳児担任	江 下 舞	18	特別支援教育支援員	牧 田 真由美
7	4 歳児副担任	押 部 希	19	特別支援教育支援員	根 本 美和子
8	5 歳児担任	岡 部 志 音	20	特別支援教育支援員	石 毛 英里佳
9	5 歳児副担任	鈴 木 野 恵	21	特別支援教育支援員	花 輪 莉 奈
10	預かり保育担当	丸 木 恵	22	事 務	内 田 敦 美
11	預かり保育担当	杉 山 圭 夏	23	用務主事	田 中 世津子
12	預かり保育担当	五十嵐 真 実			

4 所在地



Ⅲ 沿革の概要

明 22.11.22	番町尋常高等小学校附属幼稚園として開設	昭 13. 4. 1	東京都永田町尋常小学校に併設
明 34. 4.10	新園舎落成	昭 13. 4. 4	入園児73名1組編成で開園
昭 5. 8. 1	夏の幼稚園第1回開始	昭 15. 4. 1	1組増設し2組編成となる
昭 7. 4. 1	東京市麹町区番町幼稚園となる	昭 19. 4.28	戦時非常措置のため休園する
昭 19. 5.25	大東亜戦争のため休園	昭 21. 4.15	再開園
昭 20. 5.25	空襲により被災	昭 22. 6. 1	千代田区立永田町幼稚園と改称
昭 22. 4.14	千代田区立番町幼稚園として再開	昭 24. 4. 6	1組増設し3組編成とする
昭 27.11.22	幼稚園創立記念式第1回挙行、門標をかける	昭 26. 4.13	幼児増加に伴い、 3階図書準備室を保育室とする
昭 28.11.22	園歌制定	昭 30. 9. 1	1組増設し4組編成とする
昭 29.11.22	創立65周年記念式挙行	昭 33.11.20	放送教育全国大会で研究発表
昭 29.11.23	幼稚園同窓会発会	昭 34. 2. 3	放送教育研究発表
昭 30. 3.15	機関誌発行 園旗制定	昭 39. 5. 7	小学校増設により、 1階4教室を保育室に改造使用
昭 30. 5.24	東京都教育庁指導部研究協力校として発表	昭 40. 6. 1	東側空地を整備し菜園とする
昭 33. 5. 8	文部省実験幼稚園として発表	昭 41.12.10	「よい歯の幼稚園」として 全国、都、区より表彰される
昭 34. 5.22	「道徳教育」について発表	昭 43.11.13	創立30周年記念式典挙行 園旗、園歌制定
昭 34.11.22	創立70周年記念式及び研究発表	昭 48. 6. 9	創立35周年記念式典挙行
昭 35. 2. 2	都教育庁指導部研究協力園として発表	昭 49. 1.31	交通安全教育研究発表会
昭 36.11.22	新給食場竣工	昭 49.11.21	交通安全教育研究発表会
昭 43.11.11	公費により借地の園庭を買収	昭 52. 1.27	千代田区幼稚園公開保育
昭 44.10.23	創立80周年記念公開保育研究発表	昭 53.11.20	40周年記念式典挙行
昭 44.11.22	創立80周年記念式挙行	昭 54. 4. 1	3歳児保育を開始する 3・4・5歳児、各1学級編成
昭 47. 3. 2	新園舎落成	昭 57. 6.29	千代田区幼稚園公開保育
昭 48. 1.25	学校公開並に公開授業報告	昭 61.12. 8	健全育成事例研究発表会
昭 48.10. 4	あそび場「スロープ・みんなのうち」落成式	平 元. 3. 4	創立50周年記念式典挙行
昭 49. 3. 6	千代田区教育研究協力園として「友だち関係の 育成」について発表、あひる小屋完成	平 元. 6. 9	千代田区幼稚園公開保育
昭 50. 3.31	東京都教育委員会教育研究中心校（幼稚園） となり、誌上発表	平 3. 6.28	千代田区幼稚園公開保育
昭 51. 3. 5	東京都教育委員会教育研究中心学校（幼稚園） 第2年次の公開指導・研究発表		
昭 51.11.18	東京都教育委員会教育研究中心学校（幼稚園） 第3年次の公開指導・研究発表		
昭 53.10.27	日本初等理科教育研究東京大会会場として研究 発表		
昭 54. 3.31	給食廃止		
昭 54.11.22	創立90周年記念式挙行		
昭 55. 4. 1	3歳児保育開始		
昭 61.11.14	千代田区研究協力園として公開保育・研究発表会		
昭 63.10.28	日本初等理科教育研究会全国大会会場として研究 発表		
平 2. 3. 3	創立100周年記念式挙行		

平 5. 4. 1	学校設置条例の改正に伴い、東京都千代田区立千代田番町幼稚園となる
平 6. 1. 1	学校設置条例の改正に伴い、東京都千代田区立番町幼稚園となる
平 7. 6.23	千代田区幼稚園保育研究会
平 7.10.29	園章制定
平 8. 2. 3	園旗作成 園章制定を祝う会
平 8. 9. 3	固定遊具「空中冒険ジム・ログハウス」設置
平 9.11.14	千代田区研究協力園として公開保育・研究発表会
平 11.10.27	千代田区幼稚園保育研究会
平 12. 2. 5	千代田区立番町幼稚園、園歌制定記念式典挙行
平 12. 7~8	園庭改修・整備
平 14. 7~8	園舎改修・整備
平 15. 4. 1	専任園長就任
平 15.10.29	千代田区研究協力園として公開保育・研究発表会
平 15.12. 4	開園を祝う会挙行
平 16.8~17.2	固定遊具「新冒険ジム・みんなの家」設置
平 20.11.27	千代田区研究協力園として公開保育・研究発表会
平 24.12.14	千代田区研究協力園として公開保育・研究発表会
平 25.11.19	東京都教育委員会安全教育推進校研究発表会「安全に対する意識と態度を高める指導の工夫」
平 26. 7.29	東京都安全実践事例発表園
平 27. 4. 1	東京都オリンピック・パラリンピック推進指定園（コーディネーショントレーニング実践園）
平 28. 4. 1	東京都公立幼稚園教育研究会研究奨励園・東京都教育委員会コーディネーショントレーニング地域拠点校
令 2. 1. 10	ソニー幼児教育支援プログラム 「奨励園」 受賞
令 2.4.9~5.31	新型コロナウイルス感染予防のための臨時休園
令 2. 9. 8	令和2年度 文科省幼稚園教育研究協議会の提案園として発表
令 2. 1. 14	ソニー幼児教育支援プログラム 「奨励園」 受賞
令 3.12. 4	開園を祝う会挙行（前身である番町尋常高等小学校附属幼稚園から132年を記念して）
令 3. 2. 25	千代田区研究協力園・校として研究発表会「新たな価値を創造する子どもの育成」
令 5. 1. 19	ソニー幼児教育支援プログラム 「奨励園」 受賞
令 6. 1. 18	ソニー幼児教育支援プログラム 「奨励園」 受賞
令 7. 1. 24	千代田区研究協力園として研究発表会「探究の扉を開くー自ら遊び、遊びを紡ぐー」